

引き落とし及び木端砥石の利用



送付頂いた砥石の山。石の目を確認しながらカットする位置を決めていく。



綺麗に層が積んでいる



硬そうな感じ



どちらの面をカットするか決める



巣が斜めに走っている



石材屋さんを持参して、決めた位置でカットしてもらおう。数にもよるが多分1,000円ぐらいと思う。2,3ヶぐらいなら5分も掛からないのでただかも？私は近所の墓石屋さんに行ってきました。



カットして貰った様々な種類の砥石。このままでは希望の石の目が出てきていない時もある。



引いたままだと、鋸目があるので、金剛砥の120番ぐらいで磨き、さらに中岡さんより頂いた砥部の砥石で面を磨き仕上げて行く、時々希望する場所の目かどうか、確認する必要がある。鋸の目が逃げていて希望する位置で無い時もあり、又思っていた肌で無い時もある為。切出し等傍に置き時々砥ぎもって研磨力を確認しながら面を仕上げていきます。



今回頂いた砥石の中に、見事なカラス模様が出てきました。厚さは7mmぐらいですが一生物です。こんな砥石と出会えたらもう嬉しくて最高。



石の形が悪く、すわりの悪い部分のカットした分は名倉として使用します。捨てるのなんてもったいない！全て使い切ります。只角の立っている箇所は手を切る可能性があるなので丸くします



良い砥汁が出てくる



面磨きまで完成した砥石の色々形悪ければ、タイル屋さんとか、ブロック屋さん、最近では気のきいた大工さんが持っているコンクリート用サンダーでカットして、形を整える



台を付けて完成。大きさは様々だがルアーの釣針、篆刻刀、彫刻等、切出し、のみの仕上げなど細かい物の研ぎには最適、それと、色々な砥石の研ぎの感触が味わえるのが最高にうれしい。

気に入った砥石と出あえば、その石を中岡さんに送って親、兄弟を捜してもらい製品を購入すれば良い。慣れてくれば包丁でも大丈夫。

研ぎ好きな人間にはたまらなくうれしい材料です。素人には一生物かもわかりません。



砕けた砥石の破片は、さらにダイヤモンド砥石で面を付け磨く。磨いた破片を木に貼り付けて、片手で持ったり、両手でも使用出来る様にする。又薄く薄く磨き石だけで親指に貼り付けて日本刀の磨ぎの様に刃艶、地艶用にも使用出来る。柱状節理の為割れ方によりスティック状に割れる時もありそれは握って包丁の鋸ラインを出す時、又窪んだ所を磨くの使える、ともかく捨てる所はない、全て頂きます。



木に貼り付けた分は包丁などの蛤刃になっている部分の仕上げや、指に貼り付けて砥石の研ぎのむらをなくせます。

早速研ぎ比べて見ました



最高、地模様が綺麗に出てきました



硬い所があり、削って使用



研磨力は最高



カラス模様の出てきた木っ端砥石、研磨力あり十分満足良く研げた



色々な硬い砥石で研いで感触を楽しまして頂きました。砥石それぞれに個性があり面白かったです、木っ端で面を付けて台に固定した砥石でも十分使用できました。どの砥石も当たりが良かったのか、研磨力はすばらしい結果でした。中には切り出しの地模様ははっきりと浮き上がりすばらしい砥石がありました。木っ端でもばかに出来ません。土田一郎氏所蔵、畑中砥石様所蔵、元坂根様所蔵の砥石がありますが、姿、形は最高と思われませんが、使用する面は一部分しか使用しないと思います、高値の華の砥石でなく誰でも購入できる天然砥石が普及すれば良いと思っております。